

横浜市音楽研究会 研究部 器楽 部会記録					
日時	平成29年10月4日(水)				
部会名	研究部 器楽部会			主任	梅田 佳美
参加数	13名	司会	齋藤 桂	記録	加藤 紫乃
研究内容	<p>研究部テーマ 子どもの意識の流れを生かし、音楽能力の高まりを目指した授業の在り方</p> <p>器楽部会テーマ 「子どもが楽曲の特徴や面白さに気づき、その楽曲への思いを大切に、豊かな表現をめざす器楽活動」</p> <p>研究仮説 「楽曲の特徴や面白さに気づき、指導法を工夫することで探究的、協働的な活動が生まれ、豊かな表現をめざす器楽活動になる」</p> <p>◎授業指導案検討 講師 指導主事 今村 行道先生 本郷小学校 副校長 澁田 美穂 先生</p> <p>1、1年間の学習主題の流れと内容の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「曲想を生かした表現を工夫して演奏しよう」4月からこの主題で扱う単元は3回目となる。1回目は「静かにねむれ」を行っているが、何を重点に置いているかを記載。2回目の「リボンのおどり」、そして今回3回目の「キリマンジャロ」になる。どのような共通事項を設定し、学習を積み重ねてきたのかを記載する。 ・主に、①和音進行の変化（和音の響き・その響きを感じる）②音の重なり・音色（マレットの工夫）・・・特に木琴や鉄琴の特性を生かしたもの③縦と横 の3つは確実に押さえない。 <p>2、児童の実態について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習主題の流れの中で、児童の様子を具体的に記載する。器楽分野の指導案で鑑賞の分野の内容は必要ないため、器楽の分野の場合は器楽の実態を入れる。ただ、表現に関しては、歌唱や器楽なども兼ねる。 ・児童の実態に応じて、楽器編成も工夫していきたい。 <p>3、教材について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでこの主題の中で取り組んだ曲から、課題を具体的に書き込む。前回「ラバンバ」を行った際に、「リズムが合わない」という課題が見つかっている。そのことも記載し、そのため今回の「キリマンジャロ」でこうした課題を克服したいという書き方をする。 <p>4、指導の計画・本時展開について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4時間扱いの3時間目を行うか、4時間目を行うかを検討。3時間目だと音の重なりを重要視し、4時間目になると仕上がっている状態でさらに児童の思いもあり深い学びにつなげていくところになる。息がそろったみんなの喜びを感じたい場面。この時間に打楽器を突然導入するのは児童の思いに沿わないことが予想されるため、打楽器の導入は最初の時間から行う。授業者は4時間目を行いたい意向。 <p>5、今後の指導案作成について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○指導主事 今村 行道先生 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの思い（願い）や意図（思いをどう生かしたいか）にどうより沿い、どう生かせるかが大事。それがはっきりすると授業内容や計画も立てられるはず。 ・学級を2つに分けて4時間取り組んできて、最後に2グループ全員で合わせるのは子どもたちの意図に沿わない。グループの思いを大事にしていきたい。 ○本郷小学校 副校長 澁田 美穂 先生 <ul style="list-style-type: none"> ・まずは、児童の実態をしっかり考え指導案に書き込んでいくこと。子どもの課題がわかることで次の時間の具体的な取組が見える。それを積み重ねていくと、本時展開も自然と変わってくる。まずは、3時間目か、4時間目か、しっかりと考えていきたい。 				

